

宮城・山形県境部の道路に関する懇談会

設立趣意書

東北地方の道路ネットワーク整備は、南北を縦貫する縦軸路線の整備が進捗しているなかで、東日本大震災においては、縦軸路線とあわせ東西を繋ぐ横軸路線が被災地への救援物資の輸送等で機能が発揮されたところであり、今後横軸路線の整備に軸足を移行していく必要がある。

なかでも、交通状況等から、宮城県・山形県の横軸路線は東北の縦軸路線と同様に交流が活発な地域である。

しかしながら、県境付近には急勾配や急カーブ、雪崩危険箇所などが存在しているため、冬期等における安全で安心した道路ネットワークが確保できていない状況であることから、宮城県・山形県県境部の道路に関する課題及び重要性を議論するため、懇談会を設立するものである。